

Android™ 版 Piamate Plus App マニュアル

Piamate Plus App は、消音ピアノシステム RB-9000 シリーズを Android からリモート操作するための App です。

App の操作方法について説明します。

1. 接続方法

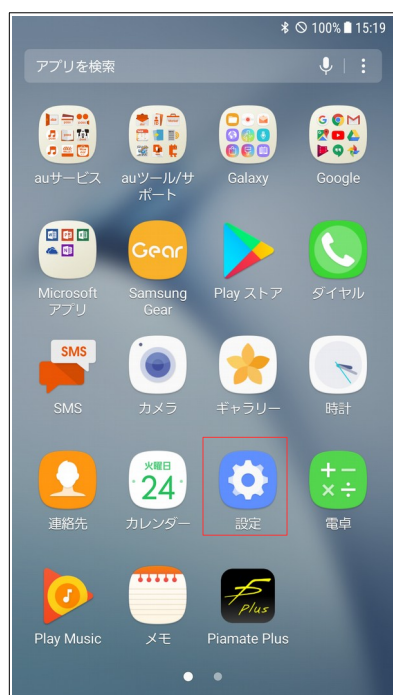
ピアメイト本体と Android の接続は、Bluetooth で接続します。

Bluetooth で接続する場合、事前に Android の Bluetooth 設定を変更しておく必要があります。

Android の「設定」から、以下のように設定します。

ステップ 1

アプリ一覧より「設定」をタップします。



ステップ 2

設定画面より「接続」をタップします。

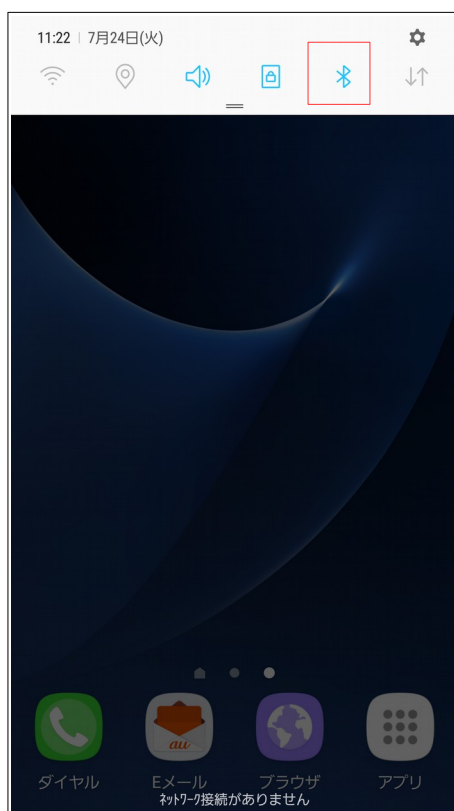


ステップ 3

Bluetooth を「オン」に設定します。



また、以下のように、クイック設定パネルから Bluetooth 設定を「オン」に変更することもできます。



2. App の起動

アプリ一覧より、「Piamate Plus」のアイコンをタップします。Piamate Plus App が起動し、サウンドの画面が表示されます。

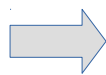
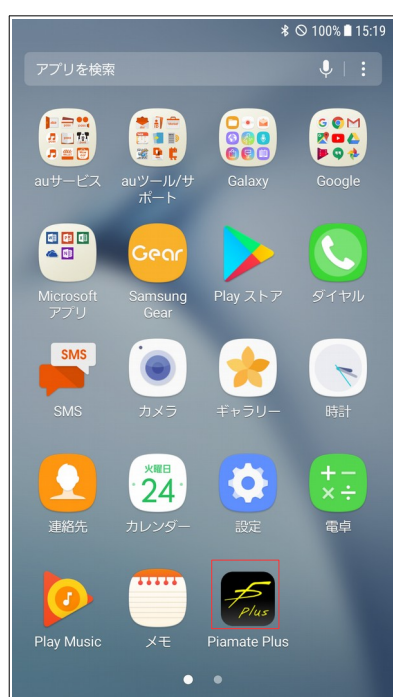
Android の機種によっては、インストール時にホーム画面にアイコンが作成される場合がありますので、ホーム画面のアイコンから起動することもできます。

ステップ 1

アプリ一覧より「Piamate Plus」をタップします。

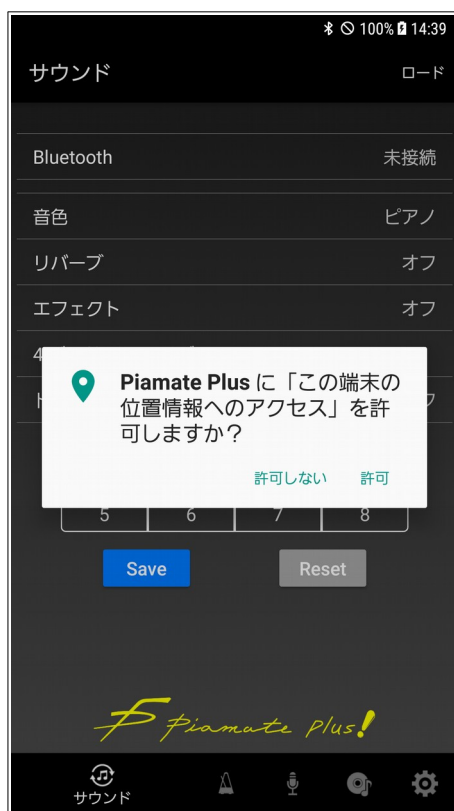
ステップ 2

App が起動し、サウンドの画面が表示されます。



【NOTE】

インストール直後、初めて App を起動した際、次のようなダイアログが表示されます。Piamate Plus は、位置情報を使用しませんが、Android 6.0 以上のデバイスでは、Bluetooth を使用する際、位置情報へのアクセスを許可する必要がありますので、「許可」をタップして下さい。




3. 基本操作

App を最初に起動した際、サウンドの画面を表示します。

サウンド、メトロノーム、録音・再生、デモ曲、本体調整の 5 つの機能を画面下のタブにより切り替えます。



[NOTE]

画面上部の青丸のアイコンは、ピアメイト本体との Bluetooth による接続状態を示し、このアイコンが表示されている時は、ピアメイト本体と接続中であることを示します。このアイコンが消えている時は、ピアメイト本体と接続できていないことを示し、この状態では、App からピアメイト本体を操作することができません。

このアイコンは、各画面共通に表示されます。

4. サウンド

ピアメイト本体と接続するための Bluetooth 設定と、音色、リバーブ等のサウンドに関する設定を行います。

最初に「Bluetooth」をタップし、ピアメイト本体と接続します。接続が完了するとサウンドの状態が App にロードされ、ピアメイト本体とサウンドの設定を同期します。

サウンドは、音色、リバーブ、エフェクト、4バンドイコライザー、トランスポーズの5種類を設定することができますが、それぞれの設定の組み合わせを8個のユーザープリセットにセーブすることができますので、ワンタッチで好みの設定に切り替えることができます。

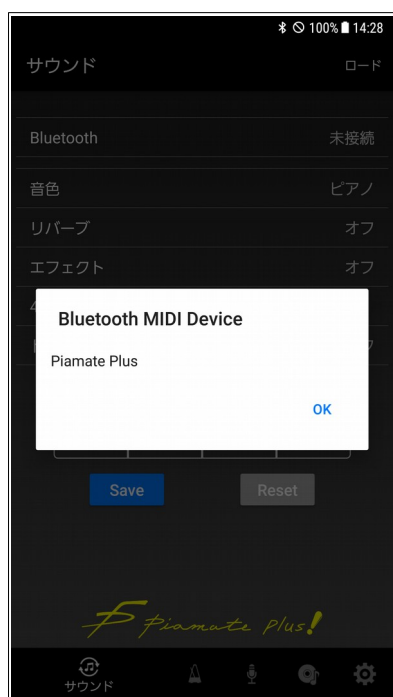


4.1. Bluetooth

Bluetooth を設定し、ピアメイト本体と接続します。
ピアメイト本体の電源を投入しておき、以下の手順で接続します。

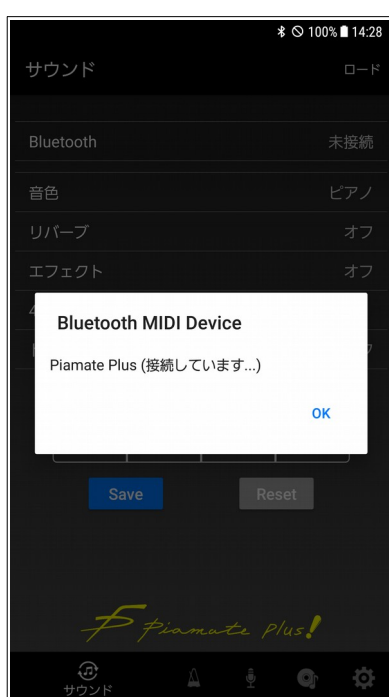
ステップ 1

「Bluetooth」をタップし、Bluetooth MIDI デバイスの一覧を表示します。



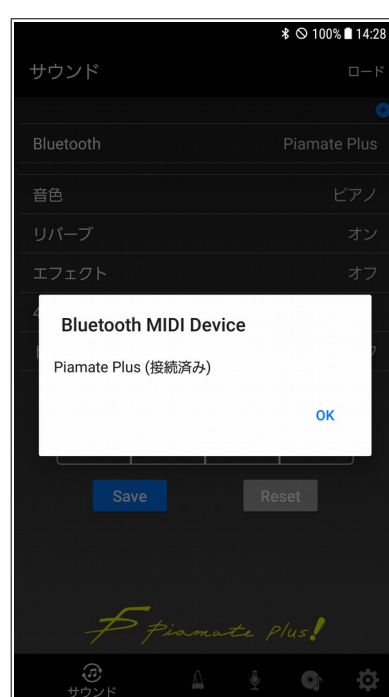
ステップ 2

「Piamate Plus」をタップし、接続を開始します。ステータスが「接続しています」になります。



ステップ 3

ステータスが「接続済み」になると、接続完了です。



【NOTE】

接続済みの状態で、「Piamate Plus」をタップするとピアメイト本体との接続が切断されますが、ピアメイト本体の電源をオフする際、この画面で切断する必要はありません。

4.2. 音色

音色を設定します。

音色は、128 音色から選択することができます。



[NOTE]

音色の変更は、現在選択されているユーザープリセットに適用されますが、変更を保存したい場合、サウンド画面に戻って、ユーザープリセットをセーブして下さい。

4.3. リバーブ

リバーブを設定します。

リバーブの種類は、ルームとホールを選択することができます。



[NOTE]

リバーブの変更は、現在選択されているユーザープリセットに適用されますが、変更を保存したい場合、サウンド画面に戻って、ユーザープリセットをセーブして下さい。

4.4. エフェクト

エフェクトを設定します。

エフェクトの種類は、コーラス、ロータリ、ディレイを選択することができます。

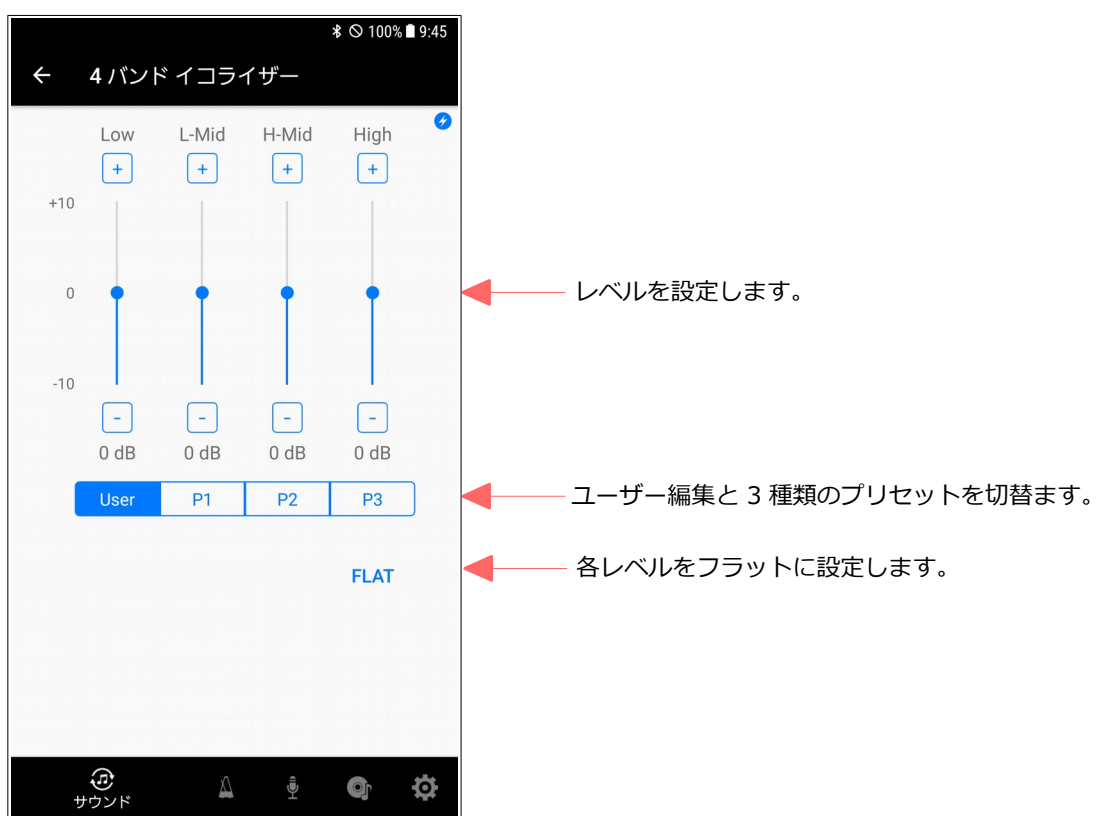


[NOTE]

エフェクトの変更は、現在選択されているユーザープリセットに適用されますが、変更を保存したい場合、サウンド画面に戻って、ユーザープリセットをセーブして下さい。

4.5. 4バンドイコライザー

4バンドイコライザーを設定します。
4バンドのレベルを変更することができます。



[NOTE]

4バンドイコライザーの変更は、現在選択されているユーザープリセットに適用されますが、変更を保存したい場合、サウンド画面に戻って、ユーザープリセットをセーブして下さい。

4.6. トランスポーズ

トランスポーズを設定します。

最大で±2 オクターブまで、トランスポーズすることができます。



[NOTE]

トランスポーズの変更は、現在選択されているユーザープリセットに適用されますが、変更を保存したい場合、サウンド画面に戻って、ユーザープリセットをセーブして下さい。

5. メトロノーム

メトロノームを再生します。

メトロノームの設定内容は以下の通りです。

- ・拍子 : なし, 2, 3, 4, 5, 6, 8
- ・テンポ : 30 - 250
- ・音量 : 10 段階

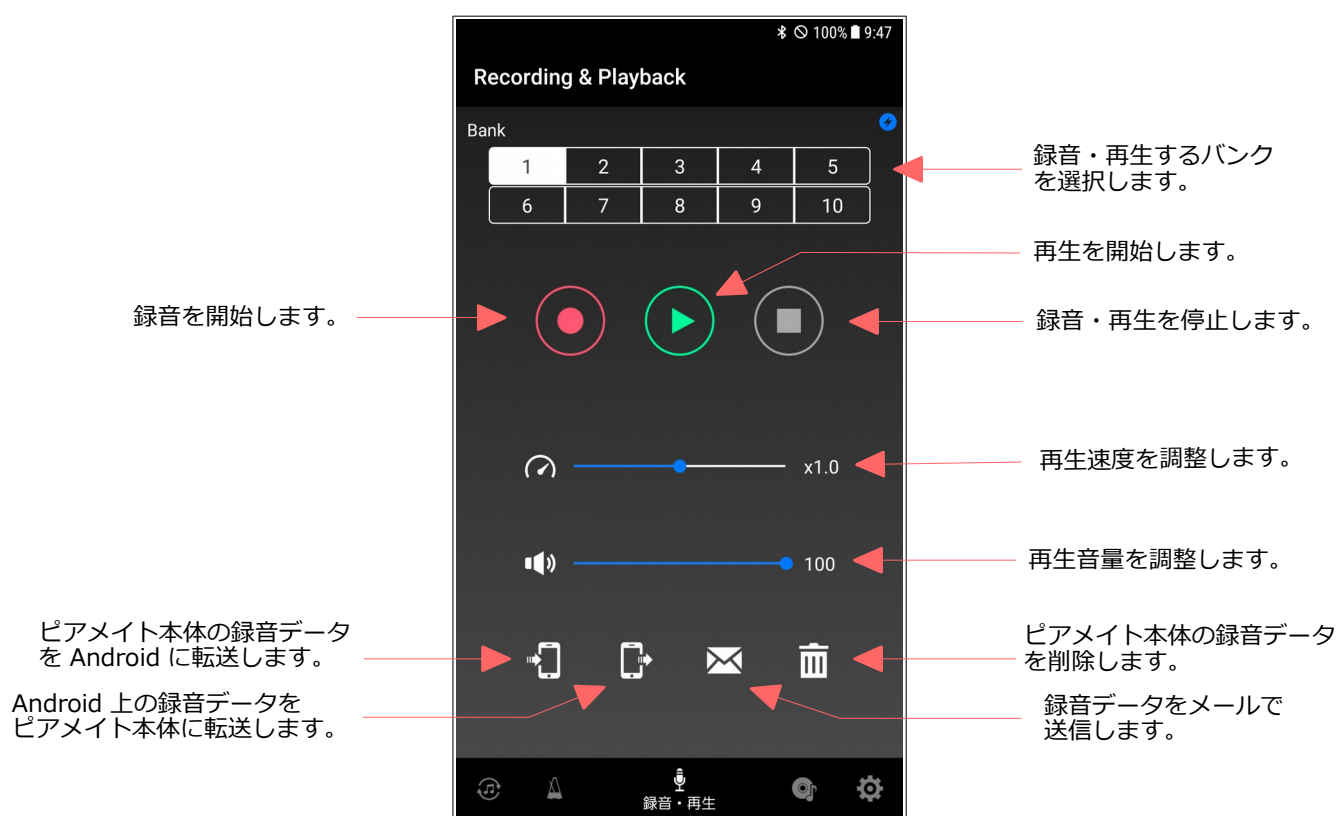


6. 録音・再生

演奏データの録音・再生を行います。

また、録音したデータを Android 上に転送し、コレクションすることができます。Android 上のデータをピアメイト本体に戻したり、Eメールで転送することもできます。

再生時、再生速度や音量を変更することができます。



[NOTE]

App をインストールしてから初めて、録音・再生画面を選択した際、次のようなダイアログが表示されます。Piamate Plus では、録音データを Android デバイス上に保存、読み出しを行うため、「許可」をタップして下さい。

録音データ以外に Android デバイス上のデータにアクセスすることはありません。



6.1. 演奏データの録音

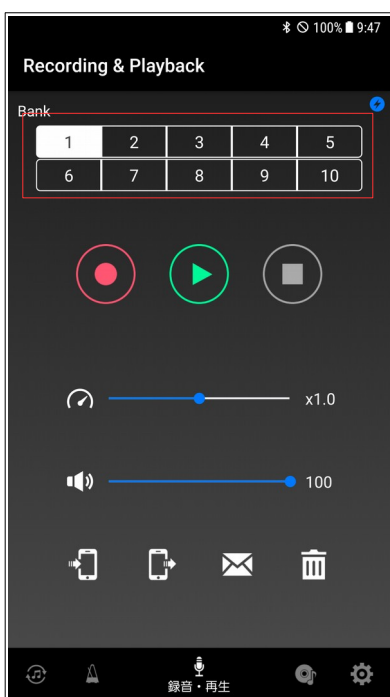
ピアメイト本体に演奏データを録音します。

ピアメイト本体には、バンクを選択することにより、最大で 10 曲分の録音データを保存しておくことができます。

以下の手順で録音します。

ステップ 1

本体の録音先のバンクを選択します。



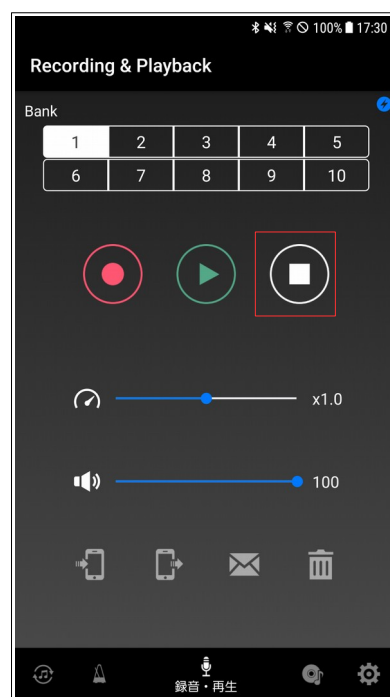
ステップ 2

録音ボタンをタップし、ピアノで演奏を始めます。



ステップ 3

録音を停止する場合、停止ボタンをタップします。



6.2. 録音データの再生

ピアメイト本体に録音されている演奏データを再生します。
以下の手順で再生します。

ステップ 1

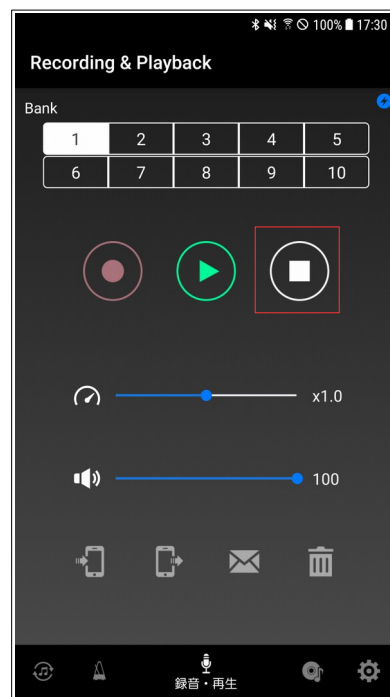
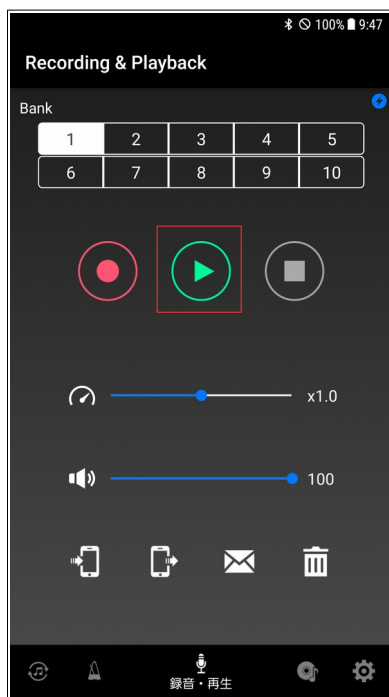
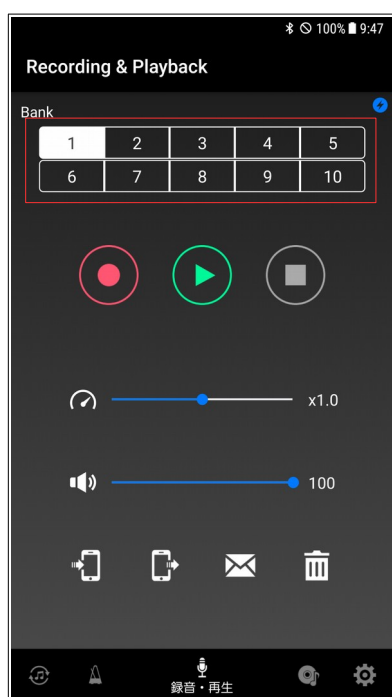
再生したい本体のバンクを選択し
ます。

ステップ 2

再生ボタンをタップします。

ステップ 3

再生を停止する場合、停止ボタンを
タップします。



再生中、スピードのスライダーで、再生速度を変更することができます(0.5 - 2.0 倍)。また、スピー
カーのスライダーで、再生音量を変更することもできます(10 段階)。

6.3. 本体から Android への録音データの転送

ピアメイト本体に保存されている録音データを Android へ転送することができます。

ピアメイト本体には 10 曲までしか保存することができませんが、Android へ転送することで、より多くの録音データを保存することができます。

なお、ここで転送した録音データは、Android のダウンロードフォルダに保存されます。

以下の手順で転送します。

ステップ 1

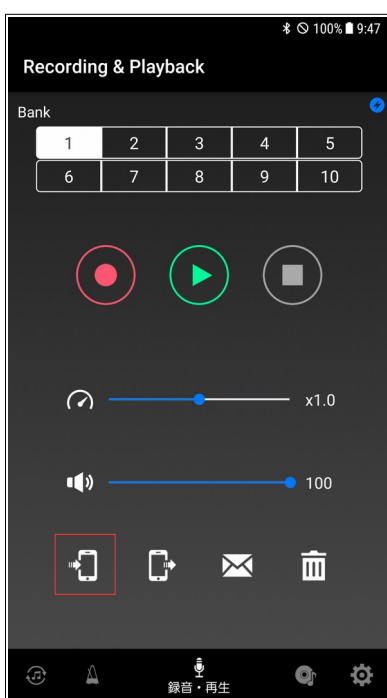
本体から転送するバンクを選択します。

ステップ 2

本体から Android への転送ボタンをタップします。

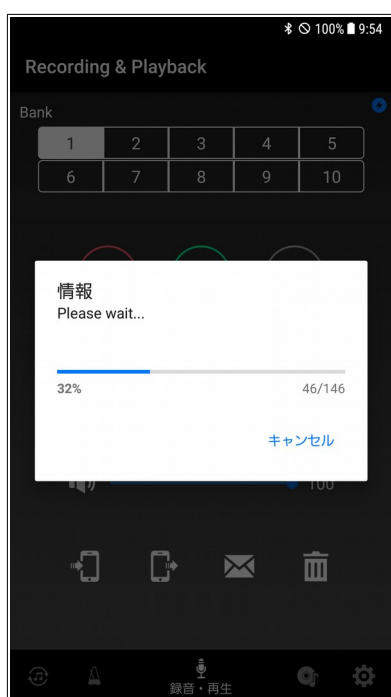
ステップ 3

Android 上で管理するためのファイル名を入力し、「OK」をタップします。



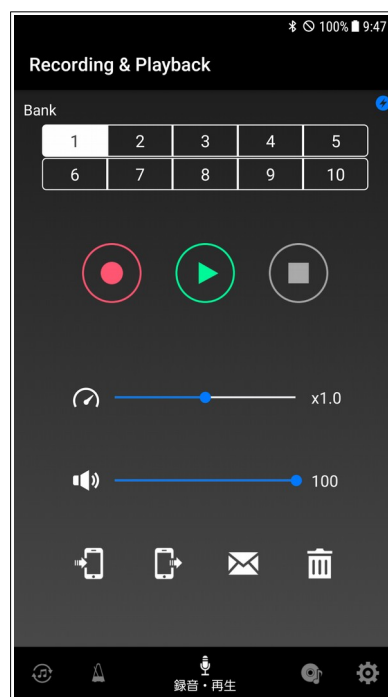
ステップ 4

データ転送中は、以下のようなダイアログが表示され、転送中の状況を表示します。



ステップ 5

転送が完了すると、ダイアログが消えます。

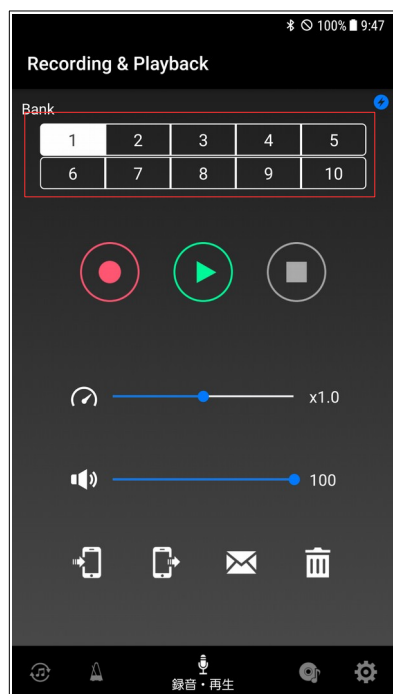


6.4. Android から本体への録音データの転送

Android に保存された録音データをピアメイト本体に転送することができます。
以下の手順で転送します。

ステップ 1

転送先の本体のバンクをタップします。



ステップ 2

Android から本体への転送ボタンをタップします。



ステップ 3

Android 上の録音データのファイルを選択し、「OK」をタップします。

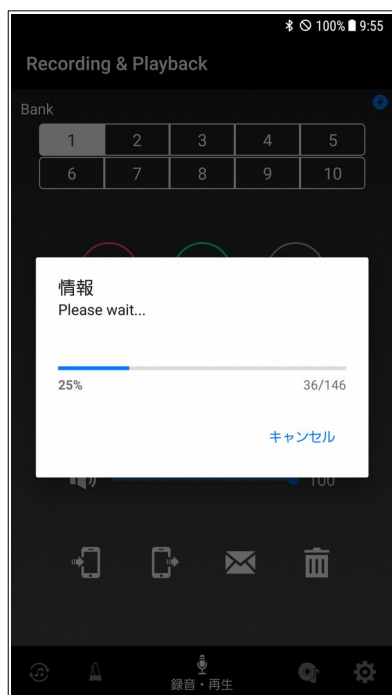


[NOTE]

ステップ 3 で表示されるファイル一覧は、Android のダウンロードフォルダに保存されている録音データの一覧を表示します。

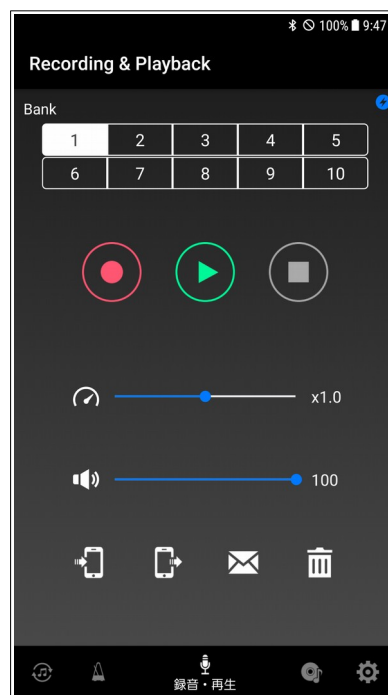
ステップ 4

データ転送中は、以下のようなダイアログが表示され、転送中の状況を表示します。



ステップ 5

転送が完了すると、ダイアログが消えます。

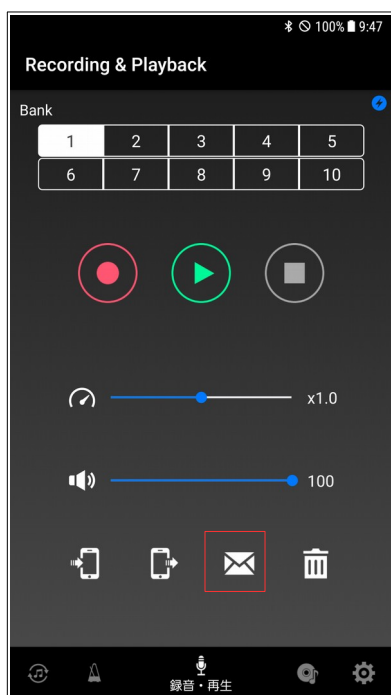


6.5. Eメールによる録音データの送信

Android 上に保存された録音データを Eメールの添付ファイルで送信することができます。
以下の手順で転送します。

ステップ 1

メールボタンをタップします。



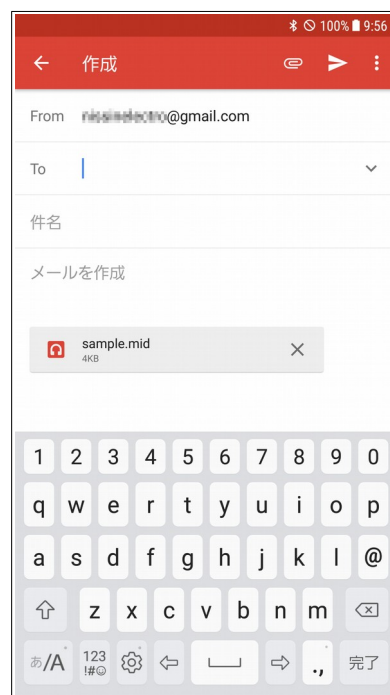
ステップ 2

Android 上の録音データのファイル名を選択し、「OK」をタップします。



ステップ 3

メールが起動し、自動的に添付ファイルに追加されますので、必用事項を入力し、メールを送信して下さい。



[NOTE]

Eメールを利用する場合、事前にメールアカウントの設定が必要です。メールの設定については、ご利用中のキャリア様の設定ガイド等を参照して下さい。

6.6. Eメールで受信した録音データのコピー

Android からピアメイト本体へ録音データを転送する際、App はダウンロードフォルダにアクセスしますので、Eメールで受信した録音データは、ダウンロードフォルダへコピーして下さい。

Gmail の場合、受信したメールを開いて、ダウンロードアイコンをタップします。

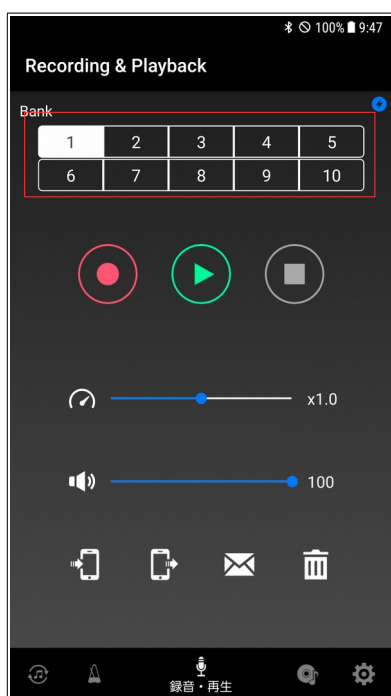


6.7. 録音データの削除

ピアメイト本体の録音データを削除します。
以下の手順で削除します。

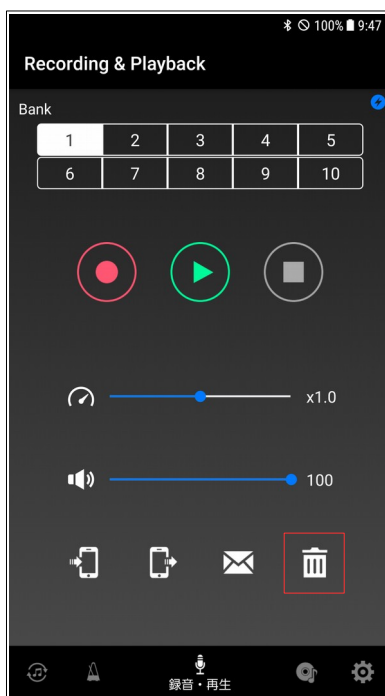
ステップ 1

削除したいバンクを選択します。



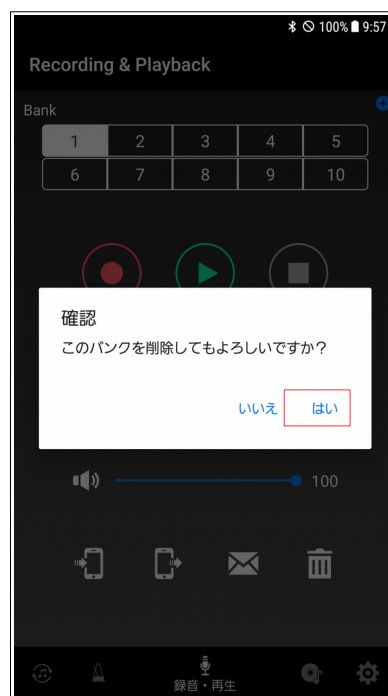
ステップ 2

削除ボタンをタップします。



ステップ 3

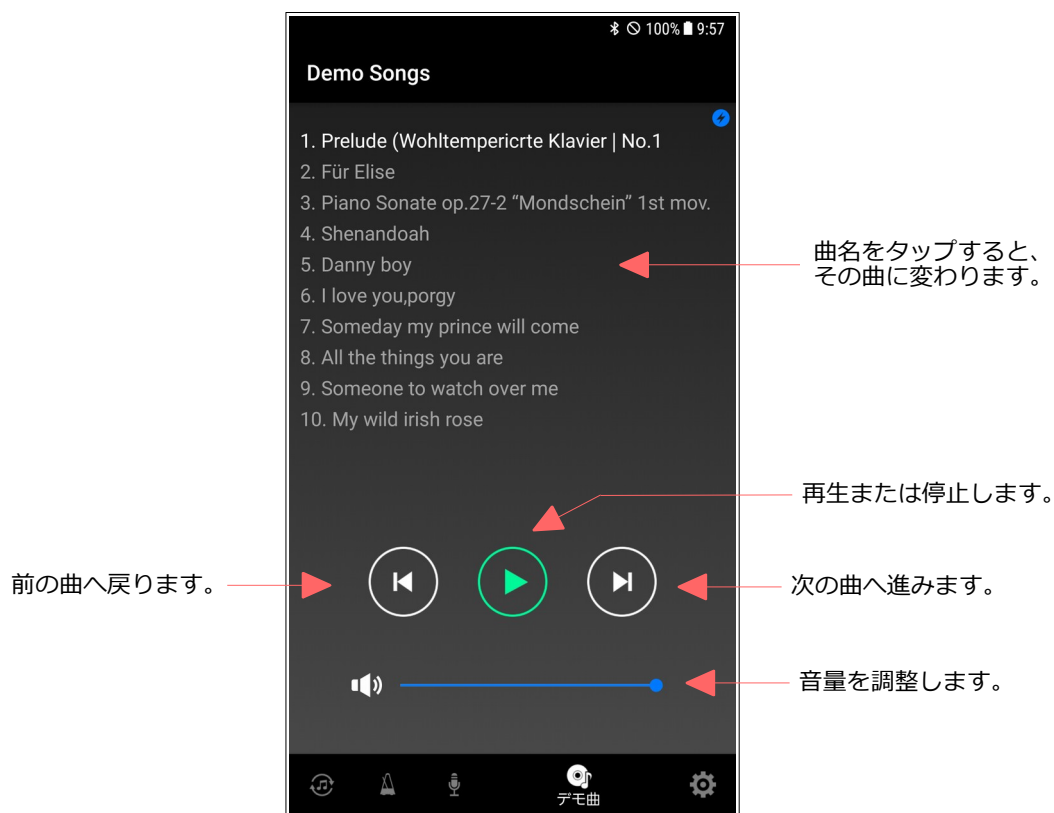
「はい」をタップすると、録音データを削除します。



7. デモ曲

デモ曲を再生します。

ピアメイト本体に収録している 10 曲から選択することができます。



8. 本体調整

ピアメイト本体の各種調整を行います。

ピアメイトを取り付けたピアノの状態に応じて、各項目を調整します。各調整項目の調整内容については、ピアメイト本体に付属している取扱説明書を参照して下さい。

ピアメイト本体と接続後、本体調整を選択すると、各調整値を自動的にロードします。これにより、ピアメイト本体と本体調整が同期します。なお、「ロード」ボタンをタップすると、手動でロードすることもできます。



8.1. ピアノタイプ

ピアノタイプを設定します。

設定をキャンセルし、
終了します。



設定を保存し、終了します。

ピアノの種類を選択します。

8.2. 鍵盤調整

鍵盤に関連する調整項目のメニューを表示します。

本体調整のメニューに
戻ります。



タッチ調整を行います。

各鍵音量調整を行います。

黒鍵音量調整を行います。

鍵盤深さ調整を行います。

鍵盤連打設定を行います。

8.2.1. タッチ調整

鍵盤のタッチを調整します。

設定をキャンセルし、
終了します。



設定を保存し、終了します。

設定値を変更します。

8.2.2. 各鍵音量調整

鍵盤毎に音量を調整します。

設定をキャンセルし、終了します。

設定を保存し、終了します。

鍵盤毎に設定値を表示します。

鍵盤を選択します。

設定値を変更します。

音量を調整します。

8.2.3. 黒鍵音量調整

黒鍵の音量を調整します。

設定をキャンセルし、
終了します。



設定を保存し、終了します。

設定値を変更します。

8.2.4. 鍵盤深さ調整

鍵盤の深さを調整します。

設定をキャンセルし、
終了します。



設定を保存し、終了します。

設定値を変更します。

8.2.5. 鍵盤連打設定

鍵盤の連打回数を設定します。

設定をキャンセルし、
終了します。



設定を保存し、終了します。

設定値を変更します。

8.3. ペダル調整

ペダルの検出位置とダンパーペダルのモードを調整します。



8.4. チューニング

チューニングを調整します。

設定をキャンセルし、
終了します。



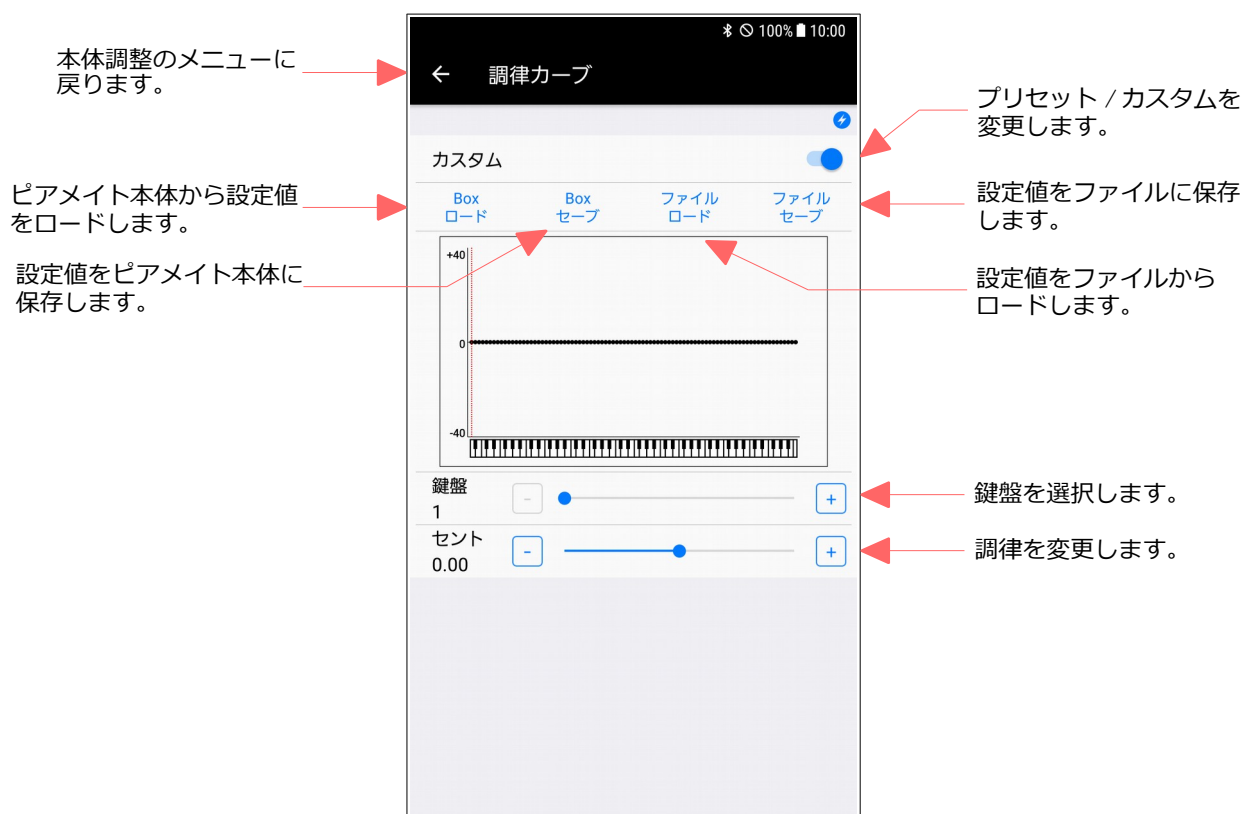
設定を保存し、終了します。

設定値を変更します。

8.5. 調律カーブ

調律カーブを編集します。

工場出荷時の状態では、ピアメイト独自の調律カーブにプリセットされていますが、この画面でカスタムに設定すると、好みの調律カーブに編集することができます(カスタムに切替直後は、フラットなカーブを表示します)。



8.6. エコ設定

エコ設定に関連する調整項目のメニューを表示します。

本体調整のメニューに
戻ります。



パネル LED 設定を行います。

オートパワーオフ設定を
行います。

8.6.1. パネルLED 設定

パネルLEDの明るさを設定します。



8.6.2. オートパワーオフ設定

ピアメイト本体のオートパワーオフを設定します。

演奏されていない状態がここで設定された時間を越えると、自動的にピアメイト本体の電源をオフにします。無効に設定した場合、オートパワーオフは働きません。



8.7. 工場出荷設定

ピアメイト本体の各種設定を工場出荷設定にリセットします。
なお、ピアノタイプはリセットされません。



【NOTE】

工場出荷設定を行った場合、一旦、ピアメイト本体の電源をオフにする必要があります。
再度、電源をオンすると、ピアメイト本体の録音ランプと再生ランプが交互に点滅し、初期設定が必要であることをお知らせします。本体に付属している取扱説明書の初期設定の手順に従って、初期設定を実施して下さい。
初期設定が完了するまで、Piamate Plus App との接続はできません。

8.8. 情報

App の情報を表示します。

Piamate Plus App とピアメイト本体のバージョンを確認することができます。




App のバージョンを表示します。

ピアメイト本体のモデル名とバージョンを表示します。

タップすると、弊社の Web サイトをブラウザで開きます。

9. 困った時は

Piamate Plus App の画面上部の青丸の  アイコンが表示されていない場合、ピアメイト本体と Bluetooth 接続ができていません。

このような場合、以下の点について確認して下さい。

- Piamate Plus App のサウンド画面の Bluetooth 設定の表示が未接続になっていると、Bluetooth 接続ができていません。Bluetooth 設定をタップし、ピアメイト本体と接続して下さい。
- ピアメイト本体の REC ランプと PLAY ランプが交互に点滅している場合、Android と接続できません。この点滅は初期設定が必要な状態を示していますので、初期設定を実施して下さい。

上記の問題がない場合、以下の項目を実施することで改善する場合があります。

- ピアメイト本体の電源を一旦オフにした後、再度オンにして下さい。
- Android の Bluetooth 設定を一旦オフにした後、再度オンにして下さい。
- Piamate Plus App を強制終了した後、再度、Piamate Plus App を起動して下さい。強制終了は、App の一覧を表示した後、Piamate Plus App の×アイコンをタップします。
- Android の電源を一旦オフにした後、再度オンにして下さい。
- 周囲に無線機器があれば、周囲の無線機器の電源をオフにして下さい。
- ピアメイト本体と Android の距離を近づけてみて下さい。

商標および免責事項

Android は Google LLC. の商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標、または商標です。

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

本書の内容の一部または全部を無断で複製、改変、転載することはできません。

本ソフトウェアの使用によるデータの消失等につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2018 Nissin Electro Co., Ltd. All rights reserved.